

**製品名: KDM2A ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe85560**

研究使用のみ

**概要**

|        |  |
|--------|--|
| 説明     | 組換えウサギモノクローナル抗体  |
| 宿主     | うさぎ  |
| 応用     | WB,IHC,ICC,IP  |
| 反応性    | 人間   |
| 標識     | 非共役  |
| 修飾     | 未修正  |
| アイソタイプ | IgG  |
| クローン性  | モノクローナル  |
| 形態     | 液体   |
| 濃度     | -  |
| 保存     | アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。        |
| 輸送     | 氷袋   |
| バッファー  | 0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む TBS で精製された抗体。 |
| 精製     | アフィニティー精製  |

**応用**

|      |  |
|------|--|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC 1:50-1:200,IP 1:10-1:20 |
| 分子量  | Calculated MW: 133 kDa; Observed MW: 133 kDa               |

**抗原情報**

|              |  |
|--------------|--|
| 遺伝子名         | KDM2A                                      |
| 別名           | FBL7; CXXC8; FBL11; FBXL11; JHDM1A; LILINA |
| 遺伝子 ID       | 22992.0                                    |
| SwissProt ID | Q9Y2K7                                     |
| 免疫原          | ヒト FBXL11 の合成ペプチド                          |

**背景**

ヒストン H3 の Lys-36 を特異的に脱メチル化するヒストン脱メチル化酵素。ヒストンコードにおいて中心的な役割を果たします。ジ

メチル化された H3 の Lys-36 残基を優先的に脱メチル化しますが、モノメチル化およびトリメチル化された H3 の Lys-36 残基に対する活性は弱い、全くありません。また、一部のリン酸化タンパク質を認識して結合し、ユビキチン化と分解を促進する可能性があります。ヘテロクロマチン状態の維持に必要です。セントロメアに結合し、セントロメアのサテライトリピートクラスターによってコードされる小さな非コード RNA の転写を抑制します。特に有糸分裂中、セントロメアの完全性とゲノム安定性を維持するために必要です。

## 研究分野

-

## 画像データ

KDM2A 抗体を使用した Jurkat 溶解物中の FBXL11 のウエスタン ブロット分析。

